

# 市政を問う

## 代表質問

3月定例会における「市長施政方針」に対し、3月2日、3日に4会派が代表質問を行いました。各会派代表議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。（質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です）



市長施政方針演説 (YouTUBE)

※質問、答弁の詳細は6月1日頃から半田図書館・亀崎図書館等に設置された会議録でご覧いただけます。また、市議会ホームページにも掲載します。  
※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。

市政を問う 代表質問（質問議員が執筆しています）



志民ネット 小出義一

**問** 第7次半田市総合計画で、将来の都市像を「チャレンジあふれる都市・はんだ」としています。次年度の進め方を聞かせ下さい。

**答** 市民ニーズや価値観が多様化するなか、新しい視点で臨むことが重要だと考えます。各分野で「チャレンジ2030」を掲げ取り組めます。

**問** 学校教育に対する基本的な考え方を聞かせ下さい。

**答** 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、夢に向かって行動する力、自分の良さを信じる力、人間関係を形成する力、夢を追い求める力を育んでいきます。

**問** 健康寿命の延伸は、行政の責務として、どのようにサポートしていきますか。

**答** 市の健康づくり情報誌などでの発信や、健康マイレージ事業等を実施します。また、がんのセット検診やがん検診と特定健康診査との合同検診を実施し、健康診断を受けやすくします。

**問** 「育ちの支援」として多様化する教育・保育ニーズを掲げています。具体的に内容を説明して下さい。

**答** 独自性を活かした教育・保育を実施する民間事業者への移行を進め、保護者のニーズに添えていきます。

**問** 知多南部卸売市場は、食の安全や地産地消、農畜産業や商業振興、に対して、どのような役割を担うのかお聞かせ下さい。

**答** 市場には地産地消を推進する公的使命があり、今後も役割が期待されています。半田市は市場がこの役割を果たされるよう、運営のサポートを行っています。

**問** ゼロカーボンシティの実現に向け、市民が取り組めることも多々あると思います。どの様な計画をお持ちかをお聞かせ下さい。

**答** 半田市が全国自治体の範となるよう、重要性を啓発し、各施策を実施していきます。



公明党 山田清一

**問** 6月に市長選挙があり、市長が交代するタイミングでの新年度予算編成で考慮した事はありますか。

**答** 新型コロナウイルス感染症の影響が見通せない中、新たな支援策や市内経済の活性化に向けた政策的事業の実施については、その対応を新市長に委ねます。

**問** 任期中に解決に至らず新市長へ引き継ぐ課題は何ですか。

**答** 喫緊の課題は、新型コロナウイルス感染症対策であり、地域経済の活性化や、ウィズコロナ、アフターコロナにおける適切な支援が求められます。中・長期的には、新半田病院の建設やJR武豊線連続立体交差化事業、さらには、「子育て世代の定住促進」や「地域の産業力の強化」、

「多様性を認めあい、支えあう社会の形成」など、新市長が先頭に立って推進していただきたいと思っています。

**問** 公共交通バスについて、地区路線Bにおける経路やダイヤを変更

更なる基準と、導入したものの乗車率が上がらない場合の運行廃止に対する考え方はどうですか。

**答** 費用対効果の観点から、利用状況に基づき継続可否を判断する基準設定は必要であり、今後路線ごとに設定します。例え路線を廃止した地域であっても、その後の高齢化の進展や技術革新、規制緩和など、公共交通を取り巻く環境の変化が認められる場合は、改めて導入を検討します。

**問** 小中学校施設長寿命化計画について、将来にわたる少子化、高齢化、人口減少を見据えて考慮した点は何ですか。

**答** 小中学校の更新は、建設後の維持管理やランニングコストの低減などに配慮した施設とします。人口減少などにより児童生徒数及び学級数が著しく減少した場合などには、統廃合や一部校舎の用途廃止、施設の縮減なども行っていきます。

小学校は、学校としての役割のほか、地域コミュニティの核となる機能を持った場とします。学校施設の更新計画を進める際には、将来の少子化、高齢化、人口減少を見据え、事業を実施します。

